RICOH
取扱説明書
TERRA REMINDER 664

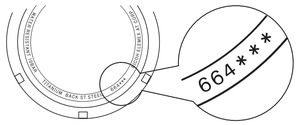
F067-D5(09-11)

保証書

製品名		
製品番号		
お買い上げ日	年　月　日	
保証期間	お買い上げ日より1年間	
お客様	ご住所	〒　☎
	お名前	様
販売店	住所	
	店名	

本保証書は日本国内のみ有効です
THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN.
リコーエレメックスエーティー株式会社
〒464-0075　名古屋市千種区内山二丁目14番29号（今池ビル）

このたびはリコーエレメックス時計をお買い上げいただきありがとうございました。
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
この取扱説明書に記載されている機種番号は、時計の裏ぶたに刻印されている6桁の番号のうち、上3桁と同一のものです。
なお、お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保存してください。



リマインダーとは

リマインダー【reminder】とは「思い出させてくれるもの」を意味します。
この時計REMINDERはバイブレーション（振動）や、サウンド（音）などの機能で「大切な時間を気づかせてくれる腕時計」を目指したブランドです。

安全上のご注意（安全に正しくお使いいただくために）

●製品を安全に正しくお使いいただき、自分自身や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 警告	●乳幼児の手の届くところに時計本体や部品を置かないでください。 部品を乳幼児が飲み込んでしまう恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師とご相談ください。 ●次のような場合、ご使用を中止してください。 〇時計本体やバンドが腐食等により鋭利になった場合 〇バンドのピンが飛び出してきた場合 ※すぐにお買い上げ店・下記お客様相談室にご相談ください。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	●アレルギーやかぶれを起した場合 ただちに時計の使用をやめ、皮膚科などの専門医に相談してください。
⚠ 注意	●その他のご注意 〇乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。ケガやアレルギーを引き起こすおそれがあります。 〇商品の分解・改造はしないでください。

●次の絵表示の区分は、危険の内容を説明しています。

感電	指示を守らないと、感電の可能性があることを意味します
火災	指示を守らないと、火災や発火、発煙の可能性があることを意味します

製品仕様

時計

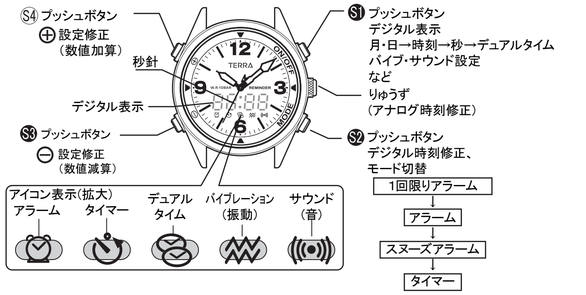
時間精度	平均月差±20秒以内 常温携帯（＋5℃～＋35℃） 充電時は室温により精度が若干プラス・マイナスすることがあります。	フル充電での持続時間	約1ヶ月使用可能 1日の使用条件（フル充電時） 時刻表示：9秒、 バイブレーション30秒、 ※使用条件により持続時間が短くなることがあります。
作動温度範囲	－5℃～＋55℃		
使用電池	二次電池 1個	駆動方式	ステップモーター式
水晶発振周波数	32,768Hz（Hz＝1秒間の振動数）	付加機能	過充電防止機能・充電警告表示機能

充電器

充電システム	電磁誘導方式
動作環境	0℃～＋40℃
材質	プラスチック（ABS樹脂）
電源電圧	AC100V～240V（50/60Hz）
消費電力	2．5W（充電時）
使用環境	室内（風呂場、台所など高温多湿ではないところ）

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

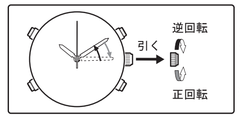
各部の名称



時刻の合わせ方

■アナログ時刻の合わせ方

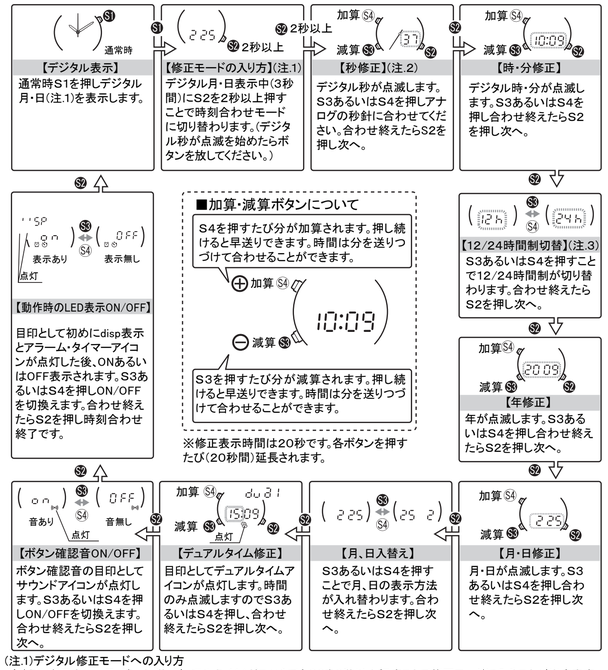
時刻合わせの際はアナログの時刻を合わせた上でデジタルの時刻を合わせると時刻修正が簡単に行えます。



アナログの秒針が0秒のところでりゅうずを引き出し秒針を停止させます。りゅうずを回して時・分針を正しい時刻に合わせて下さい。
※時刻合わせの際は正確な時刻より、5～10分程度進めてから、正確な時刻に合わせることにより正確に合わせることが出来ます。（時報と同時にりゅうずを軽く押し込んでください。）
※りゅうずを押し込んだ際にデジタルの秒は00となります。00～29秒の間は分は繰り上がりませんが30～59秒の間は分が繰り上がります。

■デジタル時刻の合わせ方

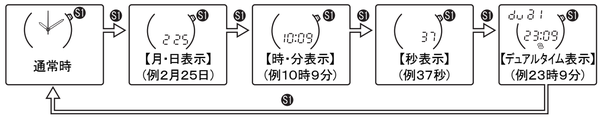
アナログの時刻修正が完了したら、デジタル時刻を合わせます。



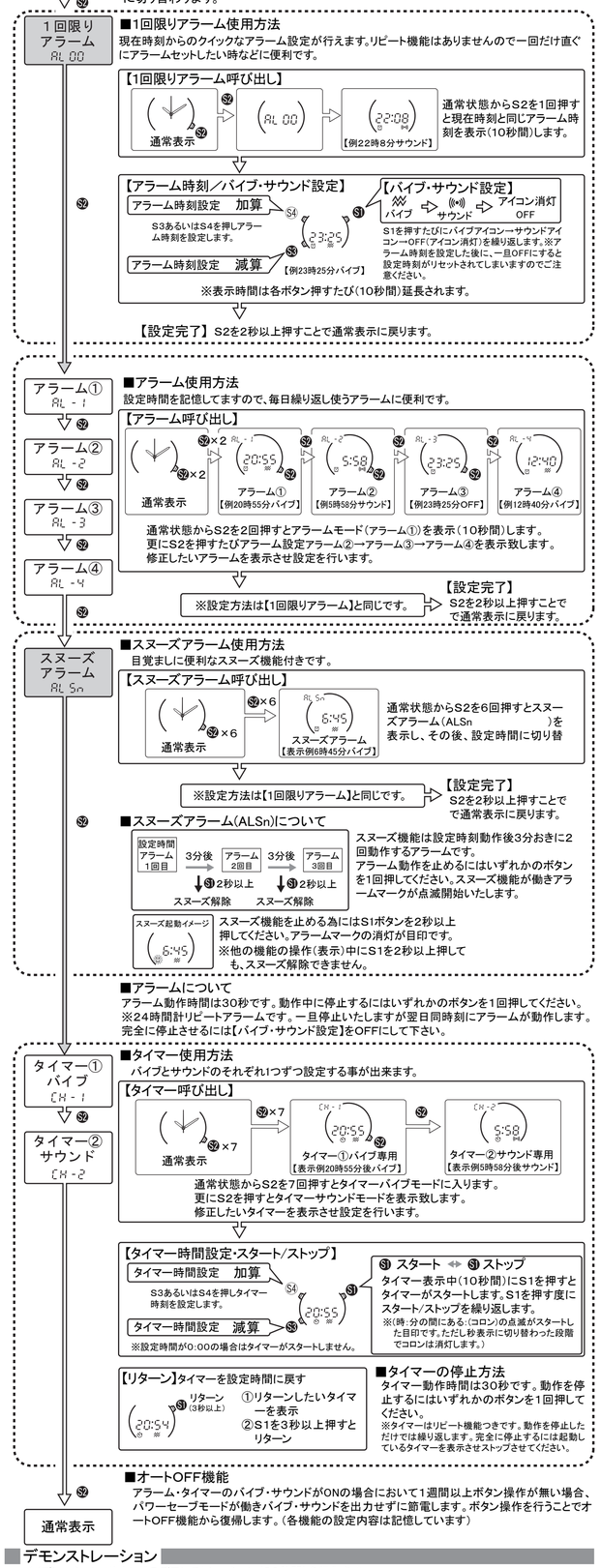
(注.1)デジタル修正モードへの入り方
デジタル表示中（月・日、時・分、秒、デュアルタイム）どこからでもS2を2秒以上押すことで修正モードに入ることが出来ます。
(注.2)デジタルの秒修正について
説明書通りにアナログの時刻修正を行った時点で、アナログ時計の秒針とデジタルの秒は同期していますので修正の必要はありません。
デジタル秒修正が必要な場合は、アナログを0秒で時刻あわせをしなかった場合や、デジタルのみ修正を行う場合です。
(注.3)12/24時間制表示切替について
デジタル時刻表示・デュアルタイム表示・アラーム動作時刻表示に適応されます。各修正モードでは24時間制での設定となります。

デジタル表示について

デジタル表示はS1ボタンを押すことで下記図のように切り替わります。
S1を押し続けている間デジタル表示されます。
S1を離すと3秒後に消灯します。



モード表示と設定



デモンストレーション

バイブレーション・サウンドのデモンストレーション（30秒間）を行えます。
■バイブレーションデモ……S1+S3を同時押し　■サウンドデモ……S2+S4を同時押し

充電について

充電量が残り少なくなったら充電を行ってください。電池が空になった状態で長期間保管されると劣化が早く進みますので、2秒運針になりましたら早めに充電をお願いします。少なくとも1ヶ月に1回充電をお勧めします。※4秒運針からフル充電までの充電時間は約40時間必要です。

■充電警告表示機能

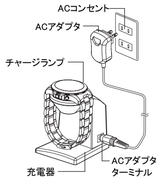
秒針の動きで充電量が少なくなっていることを確認することが出来ます。

秒針	アナログ時刻	デジタル時刻		その他の機能 アラーム、タイマー	
	機能表示	表示	設定内容	機能動作	設定内容
1秒運針	○	○	○	○	○
2秒運針（注.4）	△	○	○	○	○
4秒運針（注.4）	△ 約7日後に時計が停止します。充電をしてください	× 非表示	△ 再設定の必要はありません	× 非表示	△ 再設定の必要はありません
停止	× 再設定してください	× 停止	× 再設定してください	× 停止	× 再設定してください

（注.4）充電警告表示（秒針が2秒ずつあるいは4秒ずつ進む状態）でも、時刻は正確です。
※時計が停止した場合は、充電して正常な機能が回復してから、時刻を合わせ直してご使用ください。

■充電の仕方

①ACアダプタを充電器の側面のACアダプターミナルに接続します。
②ACアダプタをコンセントに差し込んで、充電器のチャージランプが点灯していることを確認します。
③ご購入後初めて充電される場合は、時計の裏ぶたから透明の保護シールを必ずはがしてください。
④時計の表面（ガラス面）を上にして、図のように時計を充電器の裏ぶた接地面の中心に合わせて載せます。
⑤時計の7セグメントLEDを確認します。下の充電中イメージのように一桁目のヨコセグメントが下から上に点滅すれば充電中の目印です。
⑥充電が完全に行われると、LEDが3つの同時点滅に変わります。
⑦充電が完了したら、時計を充電器から外して、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
※時計と充電器は充電中に若干暖かくなりますが、異常ではありません。
※充電器はこの時計以外にはご使用にならないでください。
※充電器をご使用でない時は、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
※充電について不具合があった場合には弊社サービスセンターにお問い合わせください。



●充電中点滅イメージが点滅しない場合
・時計の裏ぶたに透明の保護シールがないことを確認してください。
・時計と充電器の裏ぶた接地面の間に汚れやホコリ、その他の異物がないことを確認し、あれば取り除きます。

⑤充電中点滅イメージ

⑥充電完了点滅イメージ

充電器とアダプタの取り扱い上のご注意

⚠警告 感電、発煙、火災の原因となる場合がありますので必ずお読みください。 火災 感電

●充電器とアダプタ使用上の注意
〇電源及び電源コードの取り扱い
・電圧が指定範囲以外のコンセントには接続しないでください。発熱、発火、破裂などにより火災や機器の故障となるおそれがあります。
・電源コードが傷ついたときは使用しないで下さい。感電や発熱による火災の原因となります。
・電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。感電やショートによる火災の原因となります。
〇水などの液体に対しての取り扱い
・充電器、ACアダプタを濡らさないで下さい。ぬれたままの充電は感電や回路のショートによる発熱・発火、機器の故障の原因となります。
・濡れた手で充電器やACアダプタ、電源コードに触れないでください。感電するおそれがあります。
・万一水などの液体が充電器やACアダプタにかかった場合は、直ちにコンセントからACアダプタ抜き取ってください。感電や回路のショートによる発熱・発火、機器の故障の原因となります。
〇その他
・分解、改造をしないでください。発火、感電などによる傷害または機器の故障の原因になります。
・充電中に充電器を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。熱がこもって、火災や機器の故障の原因となります。

⚠注意 下記の注意を守らないと、軽傷をおったり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

●充電器の磁気について
・充電器に磁気カードなどを近づけないでください。磁気データが消えてしまうことがあります。
・この充電器は微弱ながら磁気を発生させます。したがってフロッピーディスク、キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカードなどの磁気記録を利用しているものやラジオ・テレビ・医療用電気機器に影響が出る場合がありますので充電器に近づけないでください。
・この充電式時計以外の金属系のものを載せると高温となり、危険な場合がありますので行わないでください。
●設置場所のご注意
充電器の設置場所によっては危険な場合がありますので、下記注意事項をお守りください。
〇落下してけがや故障の原因となる場合
・ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所や乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
〇機器の変形、故障の原因となる場合
・湿気やほこりの多い場所、また高温となる場所に置かないでください。
・直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所に置かないでください。
〇感電の原因となる場合
・風呂場、台所など湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。
●充電器のお手入れのご注意
充電器本体は水洗いできませんので柔らかい布などで乾拭きしてください。特に汚れがひどい場合には硬く絞った布で水拭き後乾拭きし、よく乾燥させてからご使用ください。
・感電の恐れがありますので、水拭き前に必ずコンセントから抜いてお手入れしてください。
・充電器の変色、変形の恐れがありますので、シンナー、ベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。
・ACアダプタについたほこりは拭き取ってください。火災の原因となります。
●充電器の保管について
充電器・ACアダプタを使用しない時はコンセントから抜いて、専用ケースに入れ高温・多湿の場所をさけて保管してください。

二次電池の取り扱いについて

この時計に使われている二次電池は充電することで、一般電池のような定期的な電池交換の必要がありません。ただし、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化して、充電しても使用時間が短くなることがあります。その場合は、お買い上げ店または弊社サービスセンターにご相談ください。

⚠注意
※お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
※この時計に使われている二次電池以外の電池は絶対に使用しないでください。無理に水銀電池など他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険がありますので、絶対におやめください。
※二次電池を他社の充電時計または一般の時計には使用しないでください。

⚠警告
※やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため幼児の手の届かない所に保管してください。
※二次電池を万が一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談して治療を受けてください。

時計の取り扱い上のご注意

●防水性の使用区分

時計の裏ふたの防水性能表示をご確認の上、下記を参照してください。

使用例	区分	日常生活用強化防水10気圧防水
	ケースの裏ふたの表示	WATER RESISTANT (W.R.)10・20BAR の表示がある
	洗顔や雨などにより、一時的にかかる水滴	○
	水泳や水仕事など長時間水にふれる場合	○
	スキンダイビング（素もぐり）マリンスポーツなど	○
	空気ボンベを使用するスキューバダイビング	×
	水滴がついた状態でのリュウズやボタンの操作	×

⚠警告

●防水性能について
※日常生活用強化防水（10気圧防水）時計は、素もぐりには使用できますが、スキューバダイビング・ヘリウムガスを使う飽和潜水には絶対に使用しないでください。使用した場合、生命に関わる重大な事故に繋がる恐れがあります。
※りゅうずはきちんと押し込んで、ご使用ください。
※日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した後は、真水で洗い、よく水をふきとってください。
※水中または水滴がついた状態での操作はしないでください。
※温水でのご使用はお止めください。
※時計の内部にも多少の湿気がありますので、外気が時計内部の温度より低い場合にはガラス面がくもる場合があります。くもりが長時間消えない場合には、お買上店または下記サービスセンターにご相談ください。
※水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも水が入る恐れがあるため、直接蛇口から水をかけないでください。

●ネジロックりゅうずの取り扱いについて
一部の製品にねじ込み式のりゅうずが使われています。操作時はりゅうずを左に回してください。ネジがゆるんでりゅうず操作ができるようになります。りゅうず操作が終わったら、りゅうずをケースに押しつけながら右に止まるところまでしっかりねじ込んでください。

●温度について
この時計は常温（5℃～35℃）で腕につけている時により安定した精度が得られるよう調節してあります。

	直射日光の当たるところや、高温になるところへ、長時間置かないでください。
	寒冷地や、極端に温度の低いところでは、腕からはずして長時間置かないでください。

※多少の進み遅れが生じることがありますが、常温にもどれば もとの精度で動きます。
※気温－5℃以下、＋50℃以上の環境下で長時間放置しますと、止まりの原因になったりしますので、ご注意ください。

●化学薬品・有機ガスについて

	水銀（体温計を破損した場合など）・化学薬品・ガスなどにふれると、ケース・バンド・文字板などが変色する場合がありますのでご注意ください。

●ショックについて

	ゴルフやキャッチボールなど、軽スポーツによる影響はありません。

※ただし、固い箇所へ落としたり強くぶつけるなど激しいショックを与えないでください。

●磁気について

	テレビ・ステレオ・電話など、一般家庭用電気製品程度の磁気には、心配ありません。
	磁石には近づけないでください。

※磁石つき健康器具、冷蔵庫のマグネットドアー、電気溶接機、電動マージャン台など強い磁界が発生する器具には近づけないでください。
※強い磁気の影響を受けると、一時的に停止して遅れが発生する場合や、動かなくなる場合があります。
※一般家電品程度の磁気の影響は受けにくくなっておりますが、製品によっては強い磁界を発生させている場合もあります。なるべく離してお使いいただくことをお勧めいたします。

●振動について
オートバイ、チェーンソー、削岩機などの強い振動が加えられた場合に、一時的に遅れることがあります。